

単元名 用紙に対する文字の大きさと配列(小筆)
配当時間 2時間

- 単元の目標** (1) 用紙に対して適切な文字の大きさと配列で書くことができる。
 (2) 文字の大きさや配列を考えて、適切な筆記用具を選択して書くことができる。
 (3) 用紙に対する文字の大きさや配列を意識して書こうとする。

標準的な展開例

05020204_001

【教材名】 年賀状 (P. 34～P. 37)

【準備等】 小筆, サインペン, 練習用紙(中心線の入ったもの, 余白部分に仕切り線が入っているもの), 年賀状サイズの練習用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 用紙に適した文字の大きさや配列を考えて書く。 ★用紙に対する文字の大きさと配列に気を付けて書こう ○年賀状を書く際の基準を考える。 ○年賀状の裏面を練習する。 ○まとめ書きをして, 自己評価・相互評価をする。 2 より効果的な筆記用具を選択して書く。 ★用紙に対する文字の大きさと配列に気を付けて, 効果的な筆記用具を選んで年賀状を書こう ○前時を振り返り, 基準を確認する。 ○実際に出す相手を想定し, 年賀状の裏面を書く練習をする。 ○年賀状のまとめ書きをして, 自己評価・相互評価をする	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書P. 35の例を拡大したものを提示し, どこをどう直したらよいかを話し合わせる。 ・教科書P. 35を参考にして, 基準を確認する。 <p>①文字数を考えて, 文字の大きさを決める。</p> <p>②目立たせたい字は, 大きく書く。</p> <p>③適切な余白をとる。</p> <p>④文字の中心と行の中心をそろえる。</p> <p>⑤適切な筆記用具を使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P. 34を見ながら書かせる。 ・練習用紙は, 中心線が入っているものや余白部分が点線で仕切られているものを用意しておく。 ・練習用紙には, 文字のおよその大きさを示す○印などを記入してもよいことを助言する。 <p>【評】教材の練習を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助線のない, まとめ書き用紙に書かせる。 ・隣席児童と, 互いによくなった点を認め合えるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・適切な大きさや配列で書くための基準について, 前時に話し合ったことを確認する。 ・年賀状を出す相手を定め, 相手に合った文面を考えさせる。 ・自分に合った練習用紙を選択させる。 ・小筆やサインペンなど, 適切な筆記用具を選択させる。 ・適切な文字の大きさや行の中心, 余白を確かめながら練習させる。 <p>【評】練習を通して, 適切な筆記用具を選択することについての「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣席同士で, 文字の大きさや配列等についてよい点を認め合えるようにする。文面についても, 感想を交流させたい。 <p>【評】作品を通して, 適切な文字の大きさや配列に関する「知識・技能」を評価する。</p>

【 備 考 】